

令和8年度使用小学校用教科用図書（揖斐川町）

種 目	発 行 者		書 名	検定済年
	番 号	略 称		
国 語	38	光 村	国語	令和4年
書 写	38	光 村	書写	令和4年
社 会	2	東 書	新編 新しい社会	令和4年
地 図	46	帝 国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	令和4年
算 数	4	大日本	新版 たのしい算数	令和4年
理 科	2	東 書	新編 新しい理科	令和4年
生 活	61	啓林館	せいかつ	令和4年
音 楽	27	教 芸	小学生の音楽	令和4年
図画工作	116	日 文	図画工作	令和4年
家 庭	2	東 書	新編 新しい家庭	令和4年
保 健	2	東 書	新編 新しい保健	令和4年
英 語	2	東 書	NEW HORIZON Elementary English Course	令和4年
道 徳	38	光 村	道徳 きみがいちばんひかるとき	令和4年

令和8年度使用中学校用教科用図書（揖斐川町）

種 目	発 行 者		書 名	検定済年
	番 号	略 称		
国 語	3 8	光 村	国語	令和5年
書 写	2	東 書	新編 新しい書写	令和5年
社 会 (地理的分野)	2	東 書	新編 新しい社会 地理	令和5年
社 会 (歴史的分野)	2	東 書	新編 新しい社会 歴史	令和5年
社 会 (公民的分野)	2	東 書	新編 新しい社会 公民	令和5年
地 図	4 6	帝 国	中学校社会科地図	令和5年
数 学	2	東 書	新編 新しい数学	令和5年
理 科	2	東 書	新編 新しい科学	令和5年
音 楽 (一 般)	2 7	教 芸	中学生の音楽	令和5年
音 楽 (器楽合奏)	2 7	教 芸	中学生の器楽	令和5年
美 術	1 1 6	日 文	美術	令和5年
保健体育	2	東 書	新編 新しい保健体育	令和5年
技術・家庭 (技術分野)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	令和5年
技術・家庭 (家庭分野)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	令和5年
英 語	2	東 書	NEW HORIZON English Course	令和5年
道 徳	2	東 書	新編 新しい道徳	令和5年

第4回 揖斐川町教育委員会定例会

揖斐川町教科用図書採択に係る議事録（議事要旨）

1 日時：令和7年7月29日（火）9時40分～10時10分

2 場所：揖斐川町役場 3階 第5会議室

3 出席者 教育長 香田 静夫
教育委員 教育長職務代理 折戸 克明
教育委員 小林 直樹、松井 乃里子、八幡 雅夫
教育部局 事務局長 所 貴宏
学校教育課 課長 富山 哲成
社会教育課 課長 松久 秀紀
学校教育課 学校教育係長 松浦 亮太

4. 議事

議第10号 令和8年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書の採
択議決について

○採択案教科用図書の閲覧

- ・令和8年度採択案 教科用図書（現行使用）を各委員が閲覧。

○事務局より説明

- ・令和6年度に小学校用、令和7年度に中学校用が、それぞれ採択替えが行われていることを踏まえ、令和8年度使用教科用図書については、現行使用している教科用図書を引き続き採択することを案とする。

○協議

<教育長>

- ・先ほど事務局より説明があったとおり、令和8年度採択案は現行使用しているものである。学校の教職員からは、QRコードからタブレット端末を用いて見られる視覚教材や、“個別最適な学び”を企図した、自分で学習を進められる仕組みなどが充実しており、有用性が高いという声を聞いている。一方で、教材の配置・配列について、教師の意向と異なる部分があるという意見もある。

<委員>

- ・図工・美術は、幼児期に取り組んでいるのと同じような活動を繰り返しながら、段階的に内容を高度にしていっており、つながりが感じられてよい。

- ・全体的に非常に見た目が魅力的で、子どもたちが喜んで手に取りそうである。学習意欲を喚起することにつながると思われる。

<委員>

- ・非常にカラフルで見やすく、子どもたちがとっつきやすいと思われる。内容も充実していてよい。
- ・A4サイズが主となっているが、小学校低学年の子にとっては大きく感じるかもしれない。今はタブレット端末もあるため、それと合わせると持ち運ぶのも大変になる。デジタルと、書籍の教科書とを上手くマッチングさせていくことが今後必要になってくる。書籍は書籍でそのよさがあり、まだまだ学習に必要であると考え。学校では、教科書の持ち帰りについてどのようにしているか。

<教育長>

- ・以前のように「毎日すべて持って帰る」ではなく、学校に置いておくことも一定程度認めるなど、柔軟に対応できるようにしている。

<委員>

- ・子どもたちの負担軽減という面で理解できる一方で、保護者としては「やはり教科書は、毎日家にあったほうがよい」という思いもあり難しい。

<委員>

- ・ぱっと見て非常に見やすい。算数（小学校）と数学（中学校）を見比べると、どちらかというとなら算数の方が文章量が多く驚いた。中学校は図示が多い印象である。
- ・視覚的には扱いやすいが、サイズ（A4）が大きいのは、学校で児童生徒が学習する机のサイズも踏まえると扱いづらさもあるかもしれない。
- ・現在高校で数学を教えているが、高校で出てくる内容が小学校でも出てきているところがあり、驚いた。自分が小中学校で教鞭をとっていたころから内容も変わってきていると感じた。

<教育長>

- ・これらと別に、特別支援学級など、障がいをもつ児童生徒に対しては一般図書も教科用図書として使用することができる。県から、そのような場合に教科用図書として使用できる一般図書の例が示されているので、そのことをご承知置きいただきたい。

※ 協議の結果、採択原案のとおり決定した。